

研究主題	バスケットゴール製作
------	------------

学 科 名	機械・エネルギー科
-------	-----------

	学科名	学年	氏 名		学科名	学年	氏 名
班 員	機械・エネルギー科	3	川村遼		機械・エネルギー科	3	成田一星
	機械・エネルギー科	3	気田雪音		機械・エネルギー科	3	中村承太郎
	機械・エネルギー科	3	村木陽郁				

1 研究（製作・調査・実験）目標

- ・実際に販売されているようなものを製作し、文化祭の際には外に展示する。
- ・分解や組み立てが可能なバスケットゴールを製作する。
- ・安全性を考慮した作品を製作する。

2 選定の理由

- ・実際に外で展示することを考えた際に、ボールがはねて校舎のガラスや、先生方の車に衝突するなど、安全性に欠けることが分かり、室内で年齢関係なく遊んでもらえるものを製作した。
- ・文化祭で来てくれた人が楽しんでくれるような作品を作りたいかったから。

3 製作の様子

	
骨組み部分製作の様子①	ゴール部分製作の様子①
	
骨組み部分製作の様子②	ゴール部分製作の様子②



4 研究の成果

- ・バスケットゴールのネットを自力で制作したが、耐久力が弱く壊れてしまったため市販の物を使用した。
- ・プレテストを行った際に、リングに入ったボールが戻ってこないなどといった問題が発生したためネットを張っていた部分を段ボールプラスチックにした。
- ・全体的な耐久力が弱かったため筋交いをするなどとして耐久力を高めることができた。
- ・文化祭で実際に展示することができた。
- ・強度を出し壊れにくいものを作ることができた。
- ・多くの人に楽しんでもらうことができた。

5 反省と今後の課題

- ・ねじで固定してしまい組み立てが難しい形になってしまった。
- ・寸法のはかり方が悪く、材料の一部が無駄になってしまった。
- ・作業分担が上手にいかず、効率が悪かった。
- ・放課後に残って製作することがあったため、もっと時間に余裕を持てるように活動する。
- ・来年は、タイマー表示や得点表示が自動で動くような仕組みを追加して展示してほしい。